

# OPRO X Designerファーストステップ

# 製品構成

OPRO X Serverファミリーは、以下のようなソフトウェアで構成されています。

- ▶ OPRO X Server (OXS)

帳票生成サーバソフトウェア

- ▶ OPRO X Designer (OXD)

帳票デザインを行うためのクライアントソフトウェア

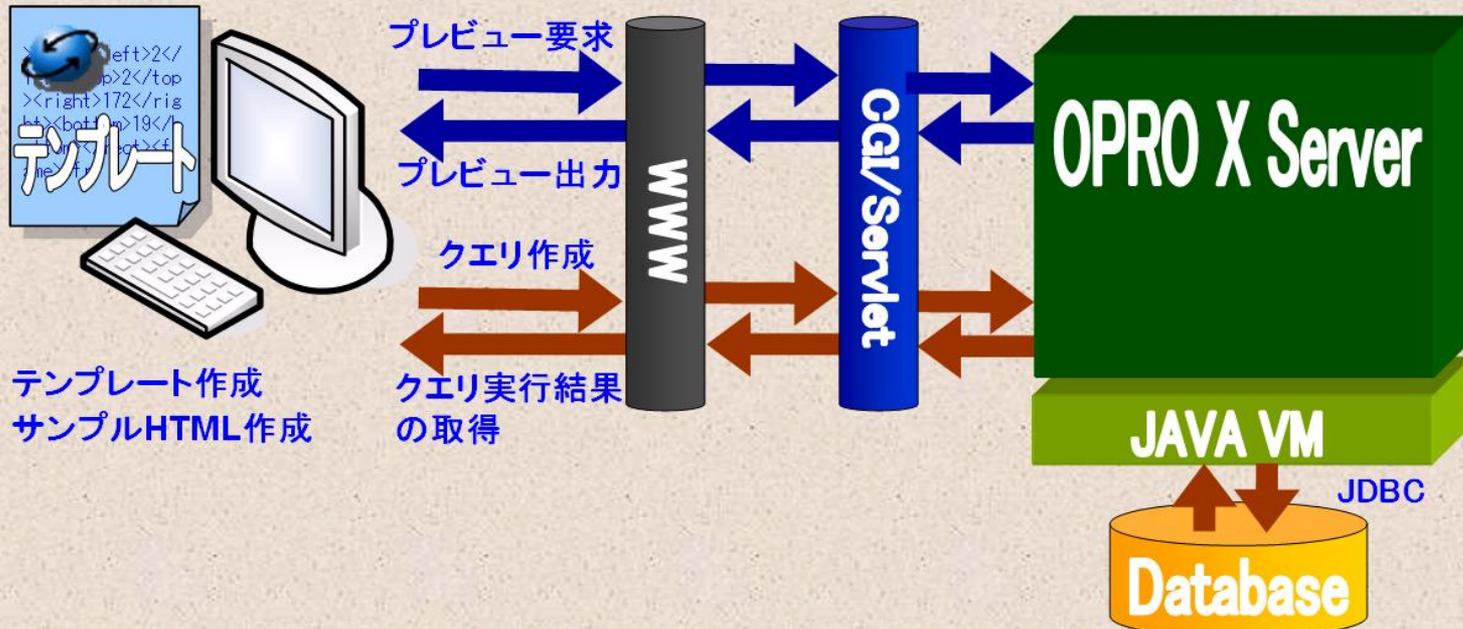
- ▶ OPRO X Browser (OXB) (ライセンスフリー)

OPR等、オプロ独自形式の帳票フォーマットを閲覧/印刷するためのクライアントソフトウェア

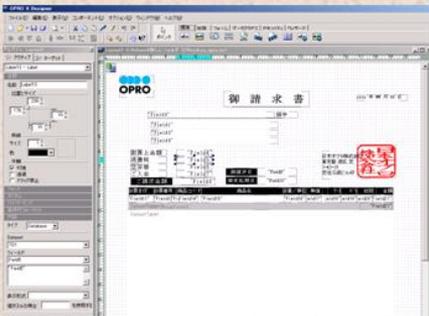
- ▶ OPRO X Server Management Service (OXSMS) (オプション製品)

帳票の出力履歴や、複数のOPRO X Serverに対する負荷分散等を行うサーバソフトウェア

# OXDのアーキテクチャ



▼デザイン画面



▼プレビュー結果



▼クエリビルダ



データの取得

# OXDを使用するにあたって

OXDは、OXSのテンプレート(拡張子oxtのXML帳票定義体)を、GUIで作成するためのツールです。

OXDでは、OXSのHTTPインターフェイス(CGIまたはサーブレット)に接続し、プレビューやデータベースの参照等を行います。このため、OXSが稼働している必要があります。また、OPR形式でプレビューを行う場合は、OXBがインストールされている必要があります。

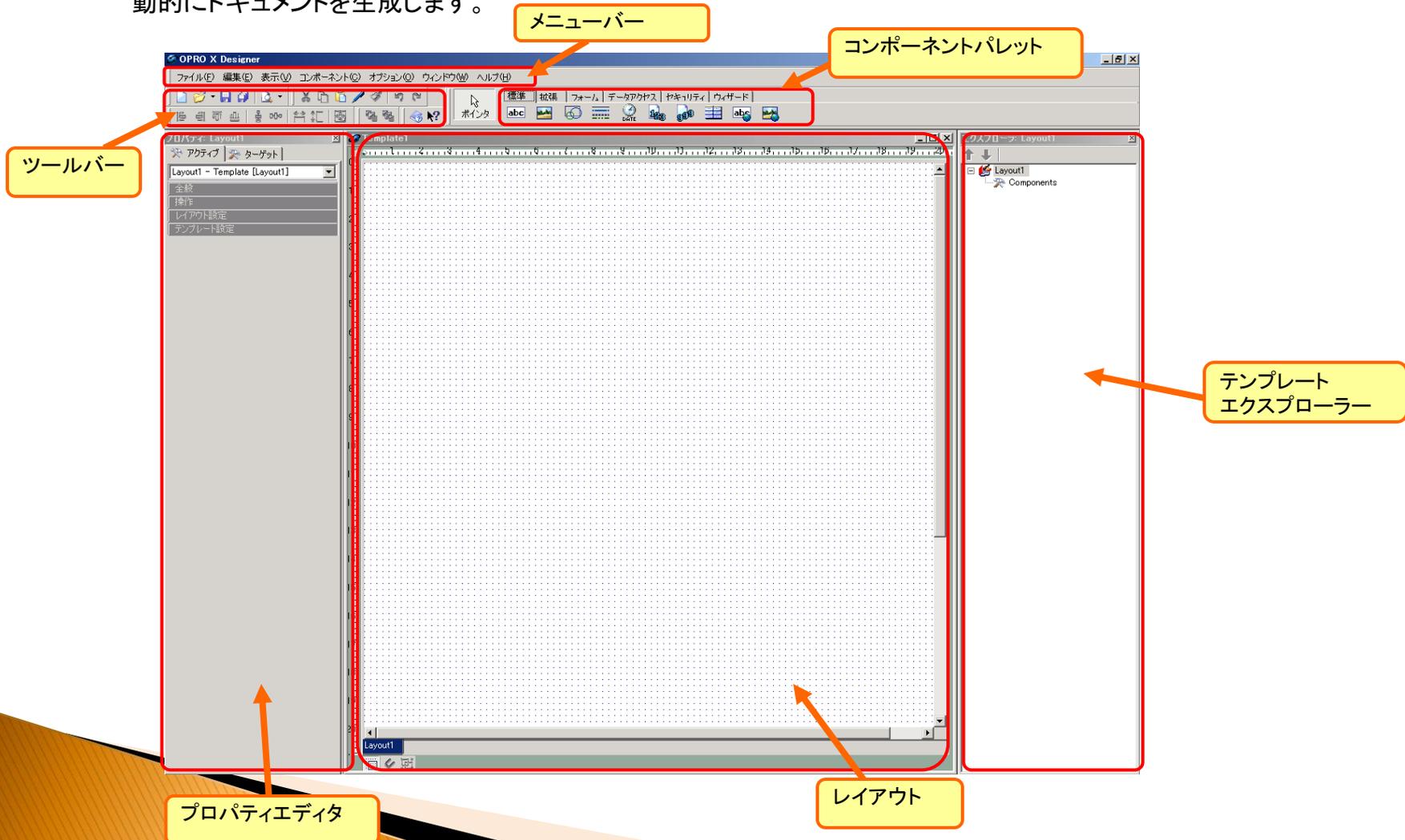
各ソフトウェアのセットアップについては、製品CDの「manual.html」またはサポートページの「リファレンスマニュアル」をご覧ください。

**OPRO X Server – リファレンスマニュアル**

[https://www2.opro.net/jp/opss/docs/270\\_ja/manual.html](https://www2.opro.net/jp/opss/docs/270_ja/manual.html)

# OPRO X Designerの画面構成

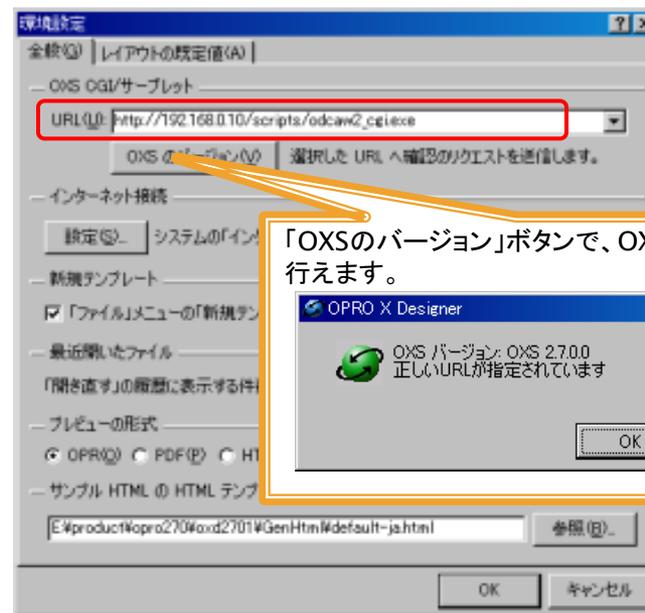
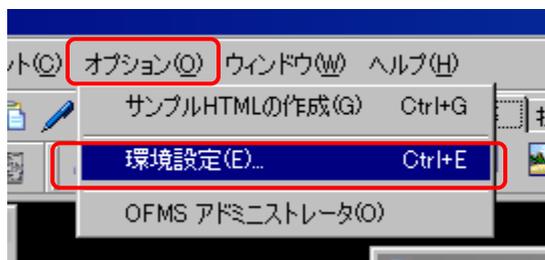
OPRO X Designerは、OPRO X Serverで使用する帳票定義体(テンプレート)を作成するためのクライアントツールです。テンプレートは、拡張子oxtのXMLとして保存されます。OPRO X Serverは、テンプレートをもとに、指定したデータソースからリアルタイムにデータを取得し、動的にドキュメントを生成します。



# OXSへの接続設定

オプションメニュー → 環境設定 → 「OXS CGI/サーバレット」で、OPRO X ServerのCGI/サーバレットのURLを指定します。

このURLは、プレビューや、サンプルHTMLの作成の際に使用します。



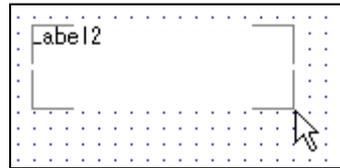
# 基本的な操作

OXDでは、機能毎の部品(コンポーネント)を選択、配置 → プロパティを設定 という流れが基本になります。  
簡単なテンプレートを作成し、プレビューしてみましょう。

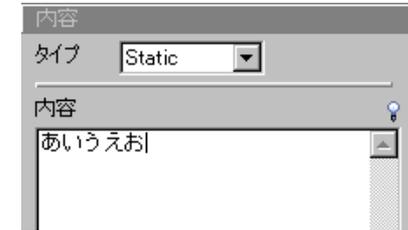
## コンポーネントを選択



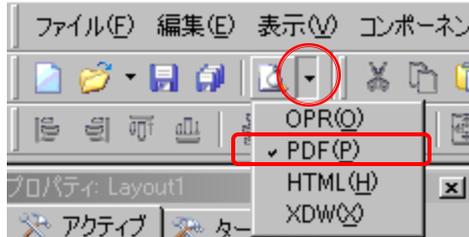
## 配置



## プロパティを設定



## プレビュー



プレビューボタン  の右横にある▼で、プレビューするフォーマットを選択できます。  
次回からは、プレビューボタンを押せば、そのフォーマットが選択されます。

# プロパティエディタについて

プロパティエディタには、「アクティブ」タブと、「ターゲット」タブがあります。

## ・「アクティブ」タブ

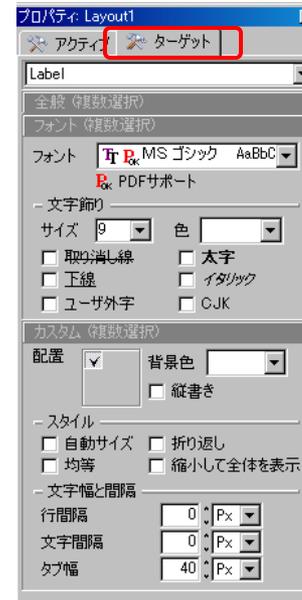
現在選択され、アクティブとなっているコンポーネントのプロパティが表示されます。



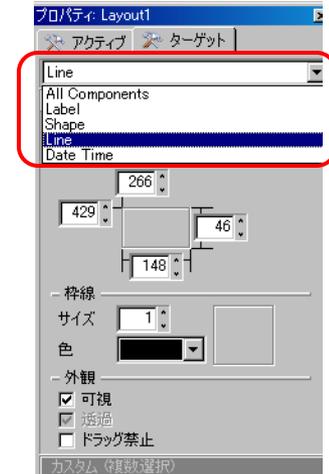
Labelのプロパティ

## ・「ターゲット」タブ

コンポーネントを複数選択している場合に、一括でプロパティの値を変更することができます。



Label(複数選択)のプロパティ



複数の種類を選択している場合は、ドロップダウンからコンポーネントの種類を選択することができます。

# 便利な操作

キーボードを使用することにより、以下のような操作が可能です。  
作業効率が大幅に増しますので、是非活用してください。

[ ] で囲まれた文字は、キーボードのキーを表します。

操作	説明
[Ctrl] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントを 1px ずつ移動
[Ctrl] + [Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントをグリッドの間隔単位で移動
[Ctrl] + ドラッグ	コンポーネントの移動方向 (垂直・水平) を固定 (最初にドラッグし始めた方向に移動)
[Shift] + [矢印 (↑↓←→)]	コンポーネントのサイズを変更
[Shift] + マウスでコンポーネントサイズを変更	コンポーネントサイズの縦横比を変えずに変更
[Alt] + ドラッグ	ボックスコンポーネント(※)を移動

(※) ボックスコンポーネントとは、以下のコンポーネントを指します。

Table

InterfaceGroup

DatasetTable

HorizontalDatasetTable

DatasetTableContainer

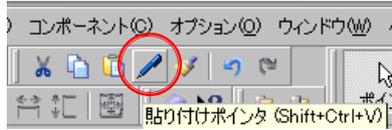
# 便利な機能 - 1

その他、OPRO X Designerには、以下のような便利な機能があります。

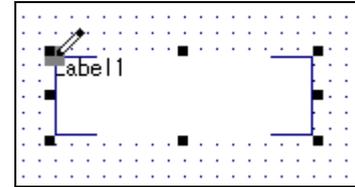
## ・貼り付けポインタ



コンポーネントをコピー



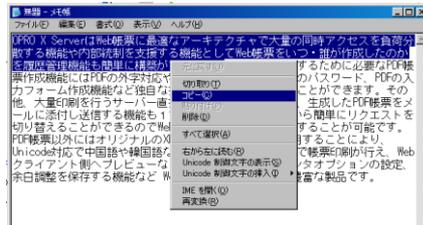
「貼り付けポインタ」をクリック



クリックした場所に貼り付けられます。  
(元のポインタに戻すには、もう一度「貼り付けポインタ」をクリックするか、キーボードのEscキーを押してください)

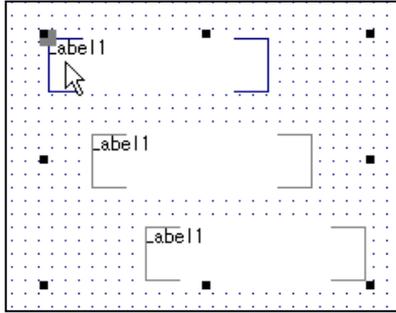
## ・画像やテキストをそのまま貼り付け

他のアプリケーション上でコピーしたテキスト情報や画像情報(クリップボードの情報)を、そのままレイアウト上に貼り付けることができます。



# 便利な機能 - 2

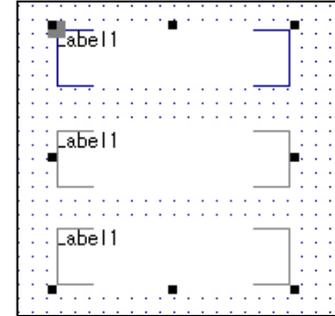
## ・整列



コンポーネントを複数選択した状態で、基準にするコンポーネントをクリック

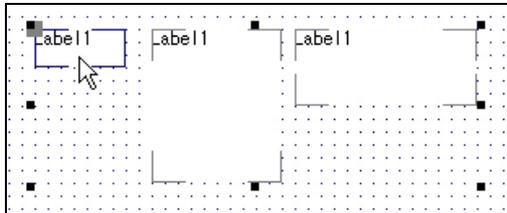


「整列」ボタンをクリック

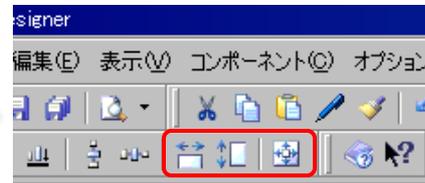


基準のコンポーネントに揃えて整列されます。

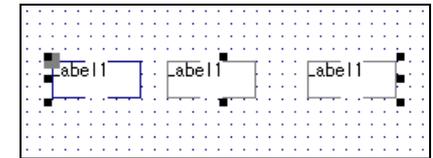
## ・サイズを揃える



コンポーネントを複数選択した状態で、基準にするコンポーネントをクリック



「サイズを揃える」ボタンをクリック



基準のコンポーネントにサイズが揃います。

# データベース環境設定

本トレーニングでは、データベースとして付属のsample.mdbを使用します。  
OXSがインストールされているコンピュータ上で、以下の設定を行ってください。

1. sample.mdbファイルを、OXSがインストールされているコンピュータ上の任意のフォルダに配置。
2. Windowsのコントロールパネル → 管理ツール → データソース (ODBC) を開く。
3. 「システム DSN」タブを開き、「追加」をクリック。
4. ドライバの選択で、「Microsoft Access Driver (\*.mdb)」を選択。
5. データソース名 (例: sample) を指定。
6. 「選択」をクリックし、配置したmdbファイルを選択。
7. OK ボタンを押し、完了。
8. OXSインストールディレクトリ以下 /conf/ODCAW.xmlの、ODCAW/ODCS/DATABASES/要素で、以下の設定を追加。  
(赤文字の「sample」は、5で指定したデータソース名)

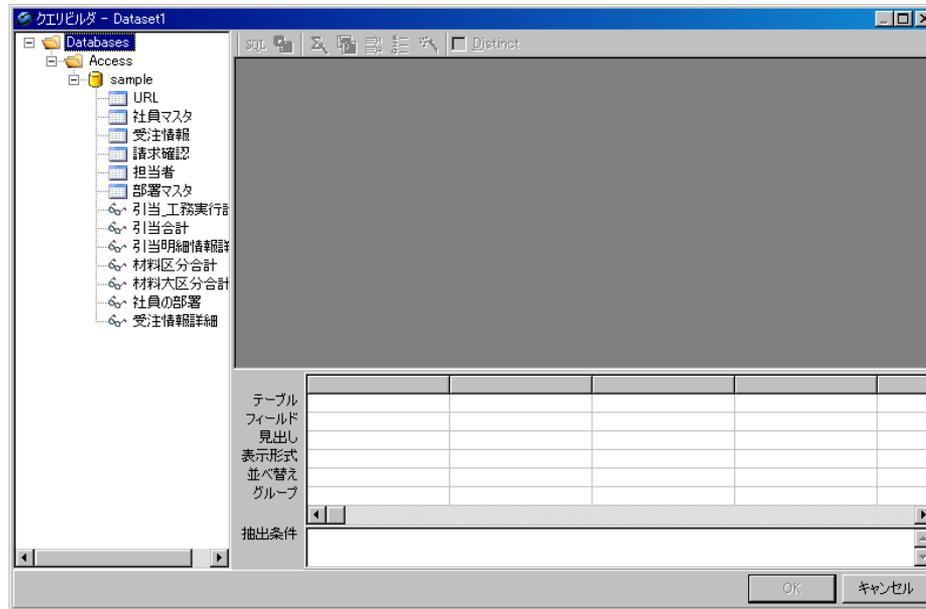
```
<DATABASE>
  <Name>sample</Name>
  <Type>Access</Type>
  <URL>jdbc:odbc:sample</URL>
  <Driver>sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver</Driver>
  <UserID/>
  <Password/>
  <Connections>3</Connections>
</DATABASE>
```

9. OXSを再起動。

# データベース接続確認

以下の手順で、OXSが接続しているDBを参照できることを確認してください。

1. OXDで、新規テンプレートを開く。
2. Datasetを配置し、ダブルクリック。
3. 「OSMSログイン」にログイン(標準ではadmin/admin)
4. クエリビルダの画面左側のツリーに、「Access」-「sample」というデータベースが表示されれば、接続されています。



基本的な内容は以上です。次ページからは、サンプルのmdbを使用して、簡易的な連続帳票を作成する手順をご紹介します。

# 基本的な連続帳票 - 完成版

データベースからデータを取得して、1ページに複数レコードを表示します。

担当者ごとのリストです

取引先名	受注日	工事名	受注金額
田中			
株式会社 ABC	2003/06/30	光ファイバー敷	¥7,499,000
	2003/06/20	光ファイバー敷	¥6,402,000
	2003/06/10	光ファイバー敷	¥5,500,000
	2003/05/31	電話工事	¥4,500,000
	2003/05/21	電話工事	¥2,600,000
	2003/05/11	ADSL工事	¥2,500,000
	2003/05/01	水道工事	¥1,500,000
田中 株式会社	2003/05/01	水道工事	¥1,500,000
		合計	¥32,001,000

担当者ごとに集計を行います

# 新規テンプレートの作成

A4 縦 のテンプレートを新しく作成します。

1. [新規作成]をクリックします

2. プロパティエディタの[レイアウト設定]プロパティを開きます

3. 設定を確認します  
用紙サイズ:A4

4. 設定を確認します  
用紙の向き:縦

# Datasetコンポーネントの配置

Datasetコンポーネントは、データベースとテンプレートをリンクするコンポーネントです。

クエリビルダというツールを利用して、データベースへのアクセスを行います。

The screenshot shows the OPRO X Designer interface. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', 'コンポーネント(C)', 'オプション(O)', 'ウインドウ(W)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar has tabs for '標準', '拡張', 'フォーム', 'データアクセス', 'セキュリティ', and 'ウィザード'. The 'データアクセス' tab is selected and highlighted with a red box. Below it, the 'Dataset' component icon is also highlighted with a red box. An orange callout bubble points to this icon with the text '2. [Dataset]をクリックします'. The main workspace shows a grid with a 'Dataset' component icon placed on it, also highlighted with a red box. An orange callout bubble points to this icon with the text '3. そのまま、レイアウト上でクリックして配置します'. Another orange callout bubble points to the 'データアクセス' tab with the text '1. [データアクセス]タブをクリックします'. The left sidebar shows the 'プロパティ: Layout1' panel with 'アクティブ' and 'ターゲット' tabs, and a list of properties including 'Layout1 - Template [Layout1]', '全般', '操作', and 'レイアウト設定'. The main workspace is titled 'Template1' and has a ruler at the top.

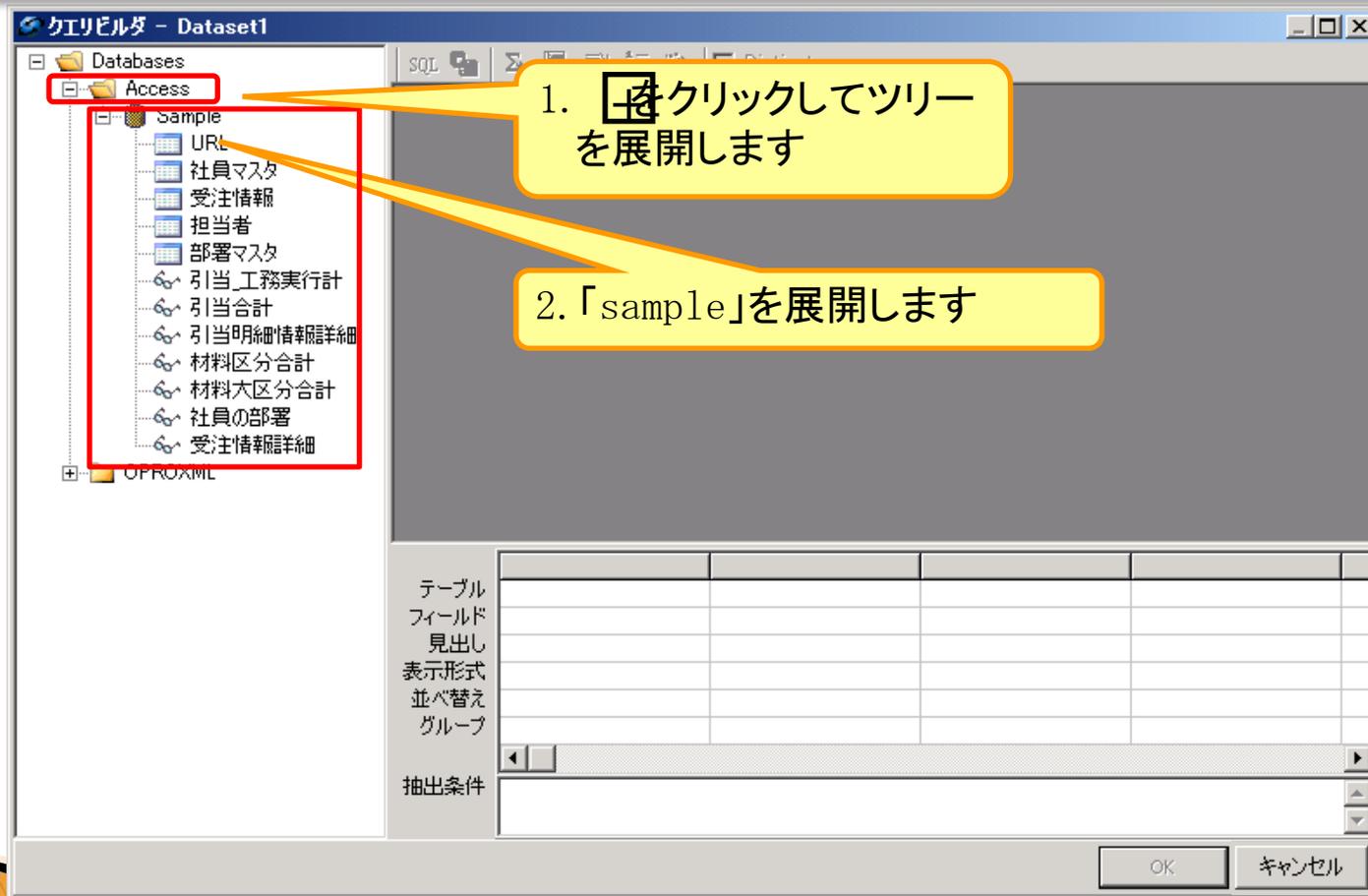
1. [データアクセス]タブをクリックします
2. [Dataset]をクリックします
3. そのまま、レイアウト上でクリックして配置します

# クエリービルダの起動

The screenshot shows a software interface with a grid workspace. On the left, a 'プロパティ: Layout1' (Properties: Layout1) window is open, showing a tree view with 'Dataset1' and 'Fields'. The main workspace contains a 'Dataset1' icon on a grid. A yellow callout bubble points to the icon with the text '1. Datasetをダブルクリックします' (1. Double-click the Dataset). Another yellow callout bubble points to the 'OSMS ログイン' (OSMS Login) dialog box with the text '2. ユーザ名/パスワードを入力します' (2. Enter the username/password). The dialog box has two input fields: 'ユーザ名(U):' (Username) and 'パスワード(P):' (Password), both containing the text 'admin'. Below the fields are two buttons: 'ログイン(L)' (Login) and 'キャンセル' (Cancel).

# データベースの選択

データベースのタイプとデータベースを選択します。



# テーブルの選択と結合

テーブルを選択し、フィールド「担当者コード」で結合を行います。

クエリビルダ - Dataset1

Databases  
Access  
sample  
受注情報  
担当者  
社員マスタ  
部署マスタ  
受注情報詳細  
引当工務実行計  
引当合計  
引当明細情報詳細  
材料区分合計  
材料大区分合計  
社員の部署  
PROXML

sample.受注情報

フィールド名	データ型	サイズ
ID	COU...	10
受注コード	DOU...	15
客先区分コード	VAR...	255
完成日付	DAT...	19
工事No	VAR...	255
工事名	VAR...	255
取引先名	VAR...	255
発注者コード	VAR...	255
現場住所	VAR...	255
受注日	DAT...	19
受注金額	CUR...	19
値引き	CUR...	19
有償区分	DOU...	15
契約工期開始	DAT...	19
契約工期終了	DAT...	19
施工担当者コード	VAR...	255

sample.担当者

フィールド名	データ型	サイズ
担当者コード	VAR...	50
担当者名	VAR...	50

1. 「受注情報」テーブルと「担当者」テーブルをダブルクリックして開きます

2. 「受注情報」テーブルの「施工担当者コード」フィールドをクリックします

3. そのまま「担当者」テーブルの「担当者コード」フィールドへドラッグアンドドロップします

OK キャンセル

# フィールドの追加

テンプレートで使用するフィールドを、デザイングリッドに追加します。

1. 「受注情報」の「全てのフィールドを追加」アイコンをクリックします

2. 「担当者」の「担当者名」をダブルクリックしてフィールドを追加します

3. デザイングリッドにフィールドが追加されたことを確認します

フィールド名	データ型	サイズ
ID	COU...	10
受注コード	DOU...	15
客先区分コード	VAR...	255
完成日付	DAT...	19
工事No	VAR...	255
工事名	VAR...	255
取引先名	VAR...	255
発注者コード	VAR...	255
現場住所	VAR...	255
受注日	DAT...	19
受注金額	CUR...	19
値引き	CUR...	19
有償区分	DOU...	15
契約工期開始	DAT...	19
契約工期終了	DAT...	19
施工担当者コード	VAR...	255

フィールド名	データ型	サイズ
担当者コード	VAR...	50
担当者名	VAR...	50

テーブル	フィールド	フィールド	フィールド	フィールド
sample.受注情報	sample.受注情報	sample.受注情報	sample.受注情報	sample.担当者
見出し	受注情報.契約工期	受注情報.契約工期	受注情報.施工担当者	担当者.担当者名
表示形式	契約工期開始	契約工期終了	施工担当者コード	担当者名

# データ表示形式の指定

デザイングリッドの[表示形式]はドロップダウンリストから表示形式を選択できます。  
(ドロップダウンリストにないものは直接キーボードから入力できます。)

テーブル	sample.受注情報	sample.受注情報	sample.受注情報
フィールド	受注情報.受注日	受注情報.受注金額	受注情報.値引き
見出し	受注日	受注金額	値引き
表示形式	yyyy/MM/dd	###,###	###,###
並べ替え			
グループ			
抽出条件			

1. ドロップダウンリストから表示形式を選択します

2. キーボードから表示形式を入力します

# クエリー実行結果の確認

「実行結果の確認」をクリックするとクエリーの実行結果が確認できます。

結果の確認

The screenshot shows the Microsoft Access interface with a query result window open. The window title is '結果' (Results). The table contains the following data:

ID	受注コード	客先区分	完成日付	工事No	工事名	取引先名	発注者コード	現場住所	受注日
1	310.0	24	2003-08-03	000000001	水道工事	株式会社	A0001	東京	2003/05/
2	312.0	24	2003-08-13	000000011	ADSL工事	株式会社	A0011	東京	2003/05/
3	330.0	24	2003-08-23	000000021	電話工事	株式会社	A0021	東京	2003/05/
4	334.0	24	2003-09-02	000000031	電話工事	株式会社	A0001	東京	2003/05/
5	34350.0	24	2003-09-12	000000041	光ファイバ	株式会社	A0011	東京	2003/06/
6	35360.0	24	2003-09-22	000000051	光ファイバ	株式会社	A0021	東京	2003/06/
7	36370.0	24	2003-10-02	000000061	光ファイバ	株式会社	A0001	東京	2003/06/
8	54371.0	31	2003-08-05	000000001	水道工事	田中 株式	A0001	大阪	2003/05/
9	46372.0	28	2003-08-05	000000002	道路工事	佐藤 株式	A0002	名古屋	2003/05/
10	53311.0	30	2003-08-04	000000002	道路工事	松下産業	A0002	大阪	2003/05/
11	55341.0	31	2003-09-03	000000032	水道工事	田中 株式	A0002	大阪	2003/06/
12	56351.0	31	2003-09-13	000000042	水道工事	田中 株式	A0012	大阪	2003/06/
13	57361.0	31	2003-09-23	000000052	水道工事	田中 株式	A0022	大阪	2003/06/
14	60321.0	34	2003-08-14	000000012	電話工事	有限会社	A0012	大阪	2003/05/
15	65331.0	35	2003-08-24	000000022	下水道工事	鈴木 株式	A0022	大阪	2003/05/
16	47322.0	28	2003-08-15	000000013	下水道工事	佐藤 株式	A0013	名古屋	2003/05/
17	48362.0	28	2003-09-24	000000053	道路工事	佐藤 株式	A0023	名古屋	2003/06/
18	61312.0	34	2003-08-05	000000003	下水道工事	有限会社	A0003	名古屋	2003/05/
19	62332.0	34	2003-08-25	000000023	上水道工事	有限会社	A0023	名古屋	2003/05/
20	63342.0	34	2003-09-04	000000033	道路工事	有限会社	A0003	名古屋	2003/06/

# DataSetTable ウィザードの起動

DataSetTableを、ウィザードを使用して配置します。

The screenshot shows the OPRO X Designer interface. The main window displays a design surface with a grid. The 'DatasetTable' component is visible in the design surface. The 'DatasetTable ウィザード' dialog box is open, showing the 'Dataset(D)' dropdown menu and the 'テーブルの選択' (Table Selection) section with radio buttons for '縦並び(V)' (Vertical) and '横並び(H)' (Horizontal). The '選択可能フィールド(A)' (Selectable Fields) and '選択されたフィールド(S)' (Selected Fields) lists are empty. The '完了(F)' (Finish) button is highlighted.

1. [ ウィザード ] タブをクリックします

2. DataSet Table ウィザードをクリックします

3. DataSet Table ウィザードが起動します

# Dataset Table ウィザードの実行(1)

Dataset、テーブルの並びのタイプ、使用するフィールドを設定します。

1. 「Dataset1」を選択します

2. 「縦並び」を選択します



3. 次の4つのフィールドを選択します

- ・取引先名
- ・受注日
- ・工事名
- ・受注金額

# Dataset Table ウィザードの実行(2)

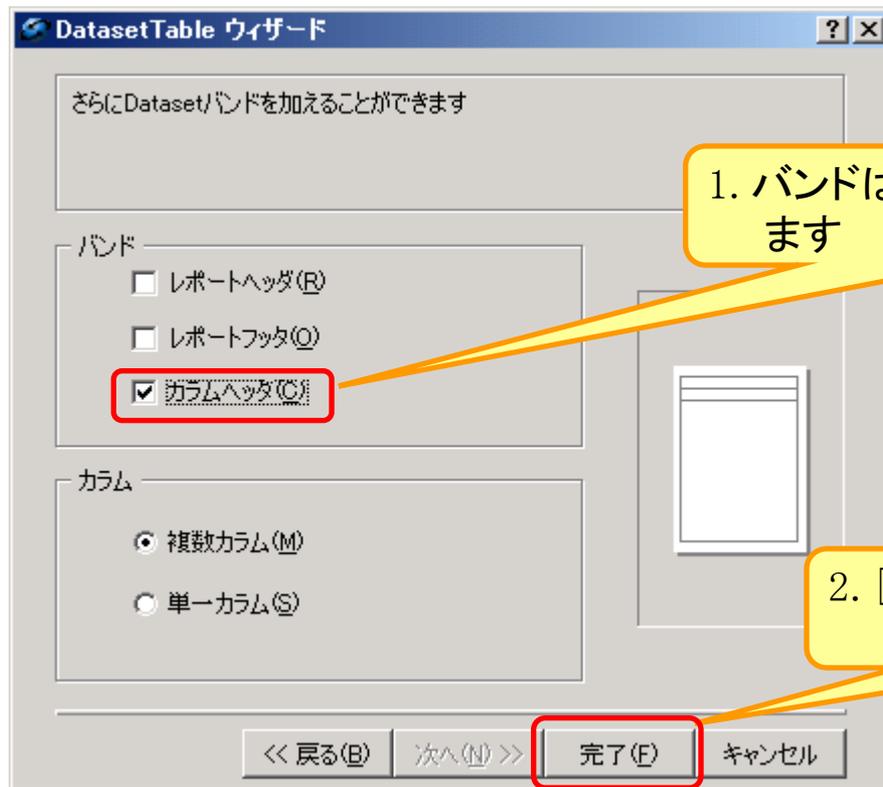
コンポーネントの名前と位置とサイズ等を設定します。



[次へ]をクリックします

# Dataset Table ウィザードの実行(3)

バンドとカラムの設定をします。



1. バンドは[カラムヘッダ]を選択します

2. [完了]をクリックして終了します

# Dataset Table ウィザード 実行結果(1)

各バンドに配置されたLabelの「内容」プロパティを確認します。

The screenshot displays the 'プロパティ: Layout1' (Properties: Layout1) window on the left and the 'Template1' design surface on the right. The '内容' (Content) property section in the left window is highlighted with a red box. It shows the 'タイプ' (Type) set to 'Database', the 'Dataset' set to 'Dataset1', and the 'フィールド' (Field) set to '取引先名' (Customer Name). The design surface shows a table with labels for column headers and data rows. Two callout boxes provide additional information:

- A yellow callout box points to the column header labels, stating: 「Columnヘッダ上のLabelは、「Static」(固定)となっています。」 (Labels on the column header are 'Static' (fixed)).
- An orange callout box points to the data row labels, stating: 「データバンド上のLabelは、「Database」となっています。」 (Labels on the data band are 'Database').

取引先名	受注日	工事名
取引先名	受注日	工事名
DatasetColumn1	DatasetColumn2	DatasetColumn7

# Dataset Table ウィザード 実行結果(2)

DatasetTableの構造を確認します。

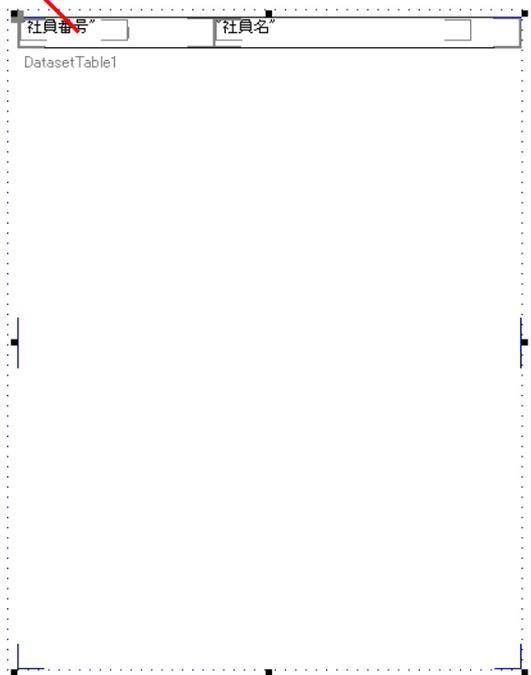
The screenshot displays the results of the Dataset Table Wizard. It is divided into three main panels:

- Properties Panel (Left):** Shows the configuration for 'DatasetTable1 - DatasetTable'. The 'Columns' section is expanded, showing 'Column数' (Number of Columns) set to 4. The 'Layout' section is also visible, with 'ColumnHeader' selected.
- Design View (Center):** Shows a grid representing the DatasetTable structure. The first row is labeled 'ColumnHeader' and contains the headers '取引先名', '受注日', and '工事名'. The subsequent rows are labeled 'DatasetColumn1', 'DatasetColumn2', and 'DatasetColumn3'. A yellow callout box labeled 'データバンド(明細行)' (Data Band (Detail Row)) points to the data rows. A red box highlights the header row and the first data row.
- Explorer Panel (Right):** Shows the hierarchical structure of the DatasetTable. The 'DatasetTable1 - DatasetTable' is expanded, showing a 'DatasetBand' containing 'DatasetColumn1' through 'DatasetColumn8'. Each column is associated with a label (e.g., 'Label1', 'Label2', etc.).

# DataSetTableについて

DataSetTableは、テーブルの高さだけ明細行を表示し、1ページに表示しきれない場合は、自動的に改ページします。

明細行(データバンド)

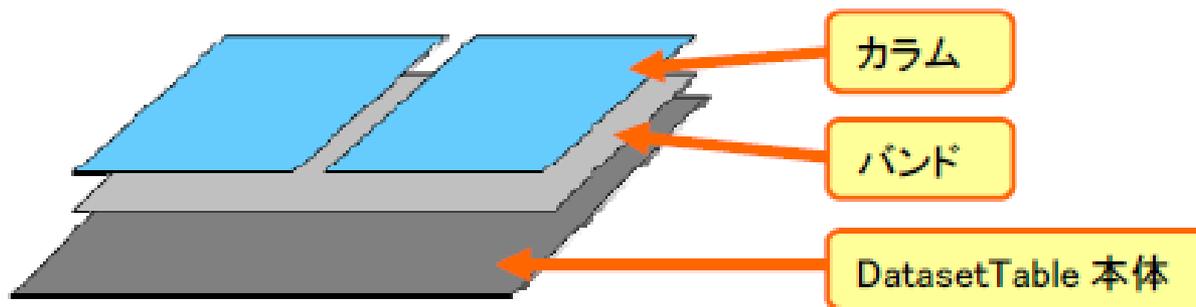


7369	赤坂 一郎
7499	石塚 達也
7521	宇野 悦子
7566	遠藤 かおる
7654	遠田 和男
7698	加藤 真一
7782	木村 次郎
7788	工藤 悟
7839	近藤 智美
7844	里村 澄子
7876	志村 紀夫
7900	外川 仙太郎
7902	田野倉 秀雄
7934	津村 康之
3001	天童 弘明
3002	戸澤 明
3003	中川 辰
3004	西村 周蔵
3005	浜田 紀夫
3006	松村 伸
3007	三田 英子
3028	三浦 幸平
3049	藤井 輝夫

自動的に改ページ

# DatasetTableの構造

DatasetTableは階層構造になっており、DatasetTable本体の上にバンドがあり、その上にカラムがあるような3段構造になっています。

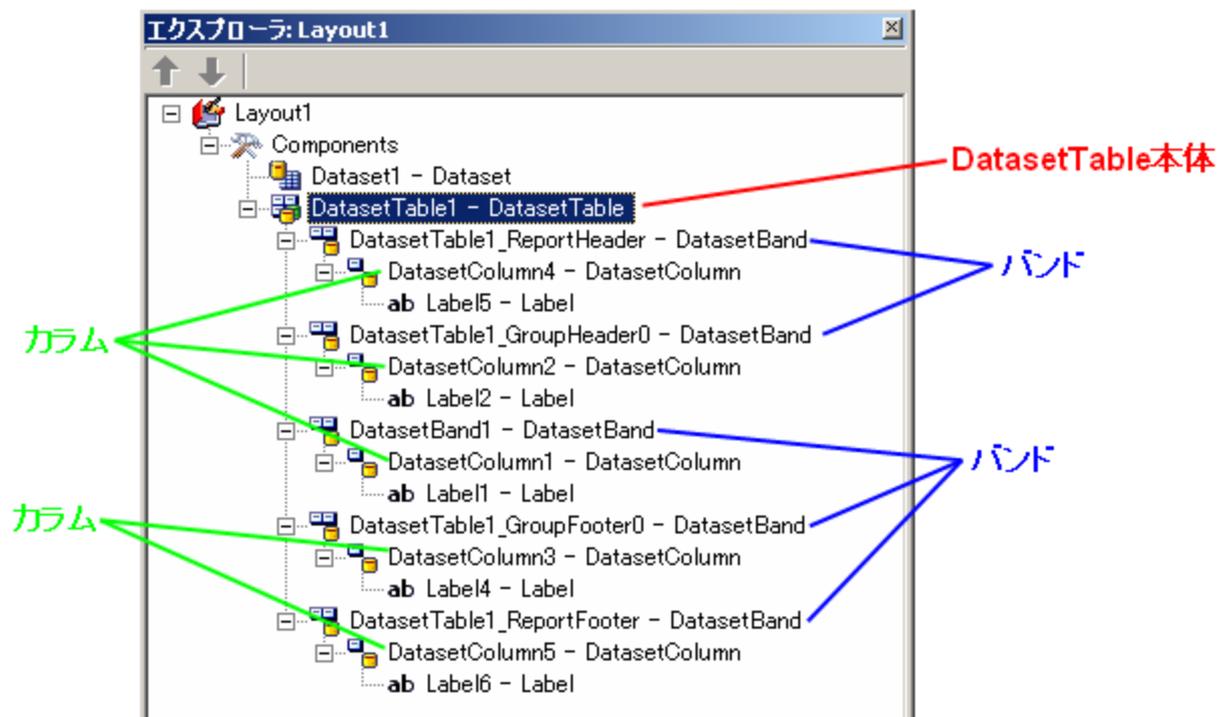


DatasetTableは、その上に別のコンポーネントを配置して使用することが多いため、マウスでのドラッグ操作等を考慮し、単にクリックしただけでは選択できないようになっています。

DatasetTableの各階層を選択するには、いくつかの方法があります。

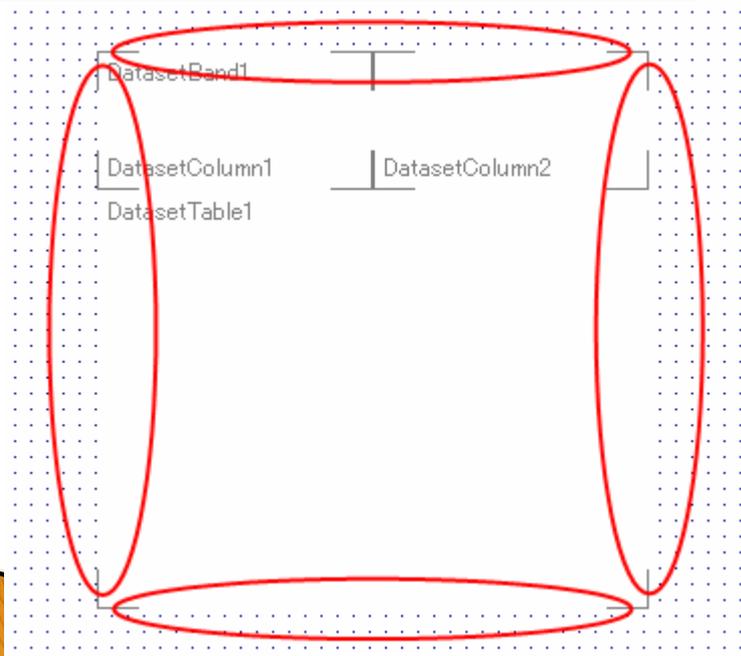
# DataSetTableの選択方法(1)

テンプレートエクスプローラで、各階層をクリックすることにより、選択することができます。

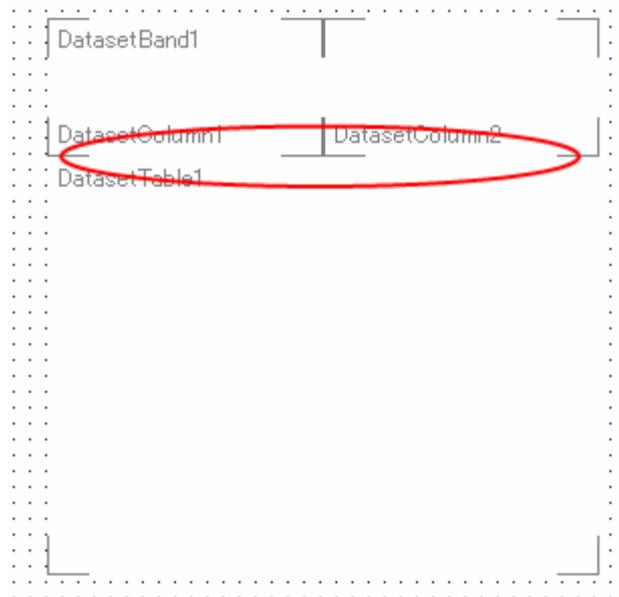


## DataSetTableの選択方法(2)

DataSetTableの境界線(下図の赤い印がついた部分)を囲むようにドラッグすると、選択することができます。



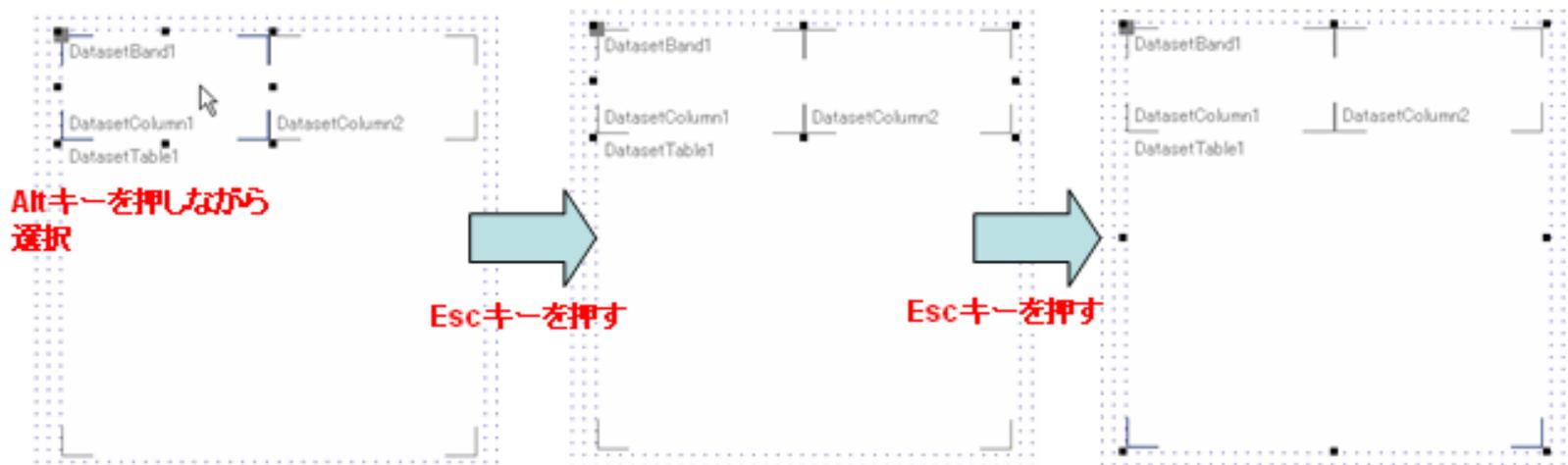
また、最下段にあるバンドについては、バンドの境界線を囲むようにドラッグすると、選択することができます。



## DataSetTableの選択方法(3)

キーボードのAltキーを押しながらカラムをクリックすると、カラムを選択することができます。

カラムを選択した状態で、キーボードのEscキーを押すと、カラム → バンド → DataSetTable本体 というように、下の階層に選択が切り替わります。



# Labelの設定

カラムヘッダの Label の設定を行い、その設定をコピーして別のLabelに 貼り付けます。

1. Labelコンポーネントを選択します

2. 全般プロパティの[透過]にチェックを入れます

3. フォントプロパティの[色]を白にします

4. フォントプロパティの[太字]にチェックを入れます

5. カラムヘッダのほかの Label コンポーネントも同様に設定します  
書式のコピー/貼り付け  
使用します

# カラムヘッダの設定

カラムヘッダの高さ、背景色を設定します。

1. カラムヘッダーを選択します

2. 全般プロパティで  
高さを「24」にします

3. カスタムプロパティで  
背景色を設定します

取引先名	受注日	工事名	受注金額
取引先名	受注日	工事名	受注金額
DatasetColumn1	DatasetColumn2	DatasetColumn7	DatasetColumn8

# 金額の右寄せと明細行の高さ

受注金額を表示する Label コンポーネントとDataset Band の高さの設定をします。

1. Label コンポーネントを選択します

2. カスタムプロパティの[配置]を[右上]にします

3. Dataset Band の高さを「24」に設定します

# グループヘッダ、グループフッタの作成

Dataset Tableコンポーネントにグループヘッダとグループフッタを追加します。

1. Dataset Table を選択します

2. カスタムプロパティ「グループ」タブを選択します

3. 「施工担当者コード」のヘッダ、フッタにチェックをつけます

取引先名	受注日	工事名	受注金額
DatasetTable_GroupHeader0			
DatasetColumn9	DatasetColumn10	DatasetColumn11	DatasetColumn12
"取引先名"	"受注日"	"工事名"	"受注金額"
DatasetTable_GroupFooter0			
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	DatasetColumn16

# 担当者名の表示

担当者名を表示するためのLabelコンポーネントを配置します。

2. フィールドプロパティを表示  
します

1. Datasetをクリックします

3. 「担当者名」フィールドを  
クリックします

4. グループヘッダの上へドラッグ  
&ドロップします

5. 次の設定を行います  
・全般プロパティで[透過]にチェックを入れます  
・フォントプロパティで[太字]にチェックを入れます

ここまで終わったら、一度プレビューしてみましょう。

# グループヘッダで改ページの設定

The screenshot shows the OPRO X Designer interface. On the left is a 'Properties' pane with various settings. In the center is a table layout with columns for '取引先名', '受注日', '工事名', and '受注金額'. Annotations are placed over the interface to guide the user through the configuration steps.

1. DataSetTableを選択します

2. カスタムプロパティを表示します

3. 「グループ」タブで、「施工担当者コード」を選択します

4. 「毎ページ出力する」と「グループが変わったら改ページする」にチェックをします

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当業者			
取引先名	受注日	工事名	受注金額

Properties Pane Settings:

- カスタム: カラム数: 4
- Dataset: Dataset1
- グループ: 施工担当者コード (checked)
- グループヘッダ:  毎ページに出力する,  空のヘッダを繰り返す
- グループフッタ:  毎ページに出力する,  下部に配置する,  空のフッタを繰り返す
- グループが変わったら改ページする
- 詳細数: 9999999

プレビューし、先ほどの結果と比べてみましょう。

# グループヘッダの高さ、背景色

1. グループヘッダを選択します

2. 全般プロパティで高さを「24」にします

3. カスタムプロパティで背景色を設定します

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名	DatasetColumn10	DatasetColumn11	DatasetColumn12
取引先名	受注日	工事名	受注金額
DatasetTable1_GroupFooter0			
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	DatasetColumn16

# グルーピングでの表示順

## ■グルーピングの優先順位について

DatasetTableカスタムプロパティの[グループ]タブで[ヘッダ]/[フッタ]にチェックをつけているフィールドはグループ化を行っているフィールドです。

これらのフィールドは、より上に表示されているフィールドを優先的にグループ化を行います。

この表示順を変更するには、移動したいフィールドを選択し、左図の赤枠部分、[上へ移動]または[下へ移動]をクリックします。

(このとき[チェックされたフィールドのみ表示]をチェックすると作業が簡易になります。)

また、クエリビルダでの並べ替えの設定は明細行である[DatasetBand]部分に適用されます。

例)

次のように設定します。

- ・「施工担当者コード」、「取引先名」の順でグループ化を行う
- ・クエリビルダの[並べ替えの設定]では「工事名」の昇順を設定

カスタム

カラム数  冊

外観

背景色

配置

Dataset

全体 グループ リンク 重複の削除

グループ	フィールド	ヘッダ	フッタ
	施工担当者コード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	ID	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受注コード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	客先区分コード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	完成日付	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	工事No	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	工事名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	取引先名	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	発注者コード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	現場住所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受注日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受注金額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	値引き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	有償区分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	契約工期開始	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	契約工期終了	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	担当者名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受注額	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

グループ: 取引先名

グループヘッダ

毎ページに出力する

空のヘッダを繰り返す

グループフッタ

毎ページに出力する

下部に配置する

空のフッタを繰り返す

グループが変わったら改ページする

下へ移動

上へ移動

チェックされたフィールドのみ表示

# グルーピングをおこなったときのSQL

DataSetTableにグループヘッダ/フッタが設定されている場合、OPRO X Serverは内部的に複数のSQLを発行します。まず、DISTINCT を使用して、グループのキーとなるデータを得るためのSQLを発行します。各グループの明細行は、DISTINCT の結果を抽出条件として指定したSQLによって取得します。

このため、グループのデータの数が増えるほど、発行するSQLの数は多くなります。また、入れ子の階層が深い(例えばグループヘッダが5階層等)といった作りは、パフォーマンス上あまりお勧めできません。

# 合計表示の配置

グループフッタにAggregate Functionコンポーネントを配置します。

1. [データアクセス]タブをクリックします

2. [Aggregate Function]をクリックします

3. グループフッタに配置します

4. 内容プロパティを設定します  
Dataset :Dataset1  
フィールド: 受注金額  
関数 :SUM

5. 次の設定を行います  
・全般プロパティ [透過]にチェック  
・フォントプロパティ [太字]にチェック  
・カスタムプロパティ [配置]を[右上]

# 合計表示の見出しの配置

Labelを配置して、合計表示に見出しをつけます。

The screenshot shows a software interface with a table and a properties window. The table has columns for '取引先名' (Customer Name), '受注日' (Order Date), '工事名' (Work Name), and '受注金額' (Order Amount). The '合計' (Total) row is highlighted in red. The properties window on the left shows the '内容' (Content) property set to '合計' (Total).

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名	受注日	工事名	受注金額
取引先名	受注日	工事名	受注金額
DatasetTable1_GroupFooter0			受注金額
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	DatasetColumn16
合計			

1. 見出し用にLabelコンポーネントを配置します

2. 内容プロパティを設定します  
タイプ:Static  
内容 :合計

3. 次の設定を行います  
・全般プロパティ [透過]にチェック  
・フォントプロパティ [太字]にチェック

# グループフッタの高さ、背景色

1. グループフッタを選択します

2. 全般プロパティで高さを「48」にします

3. カスタムプロパティで背景色を設定します

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名	DatasetColumn10	DatasetColumn11	DatasetColumn12
取引先名	受注日	工事名	受注金額
DatasetTable1_GroupFooter0		合計	受注金額
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	DatasetColumn16

# 罫線の設定

1. Dataset Tableをドラッグして選択します

DatasetTable1 - DatasetTable

全般  
罫線  
カスタム

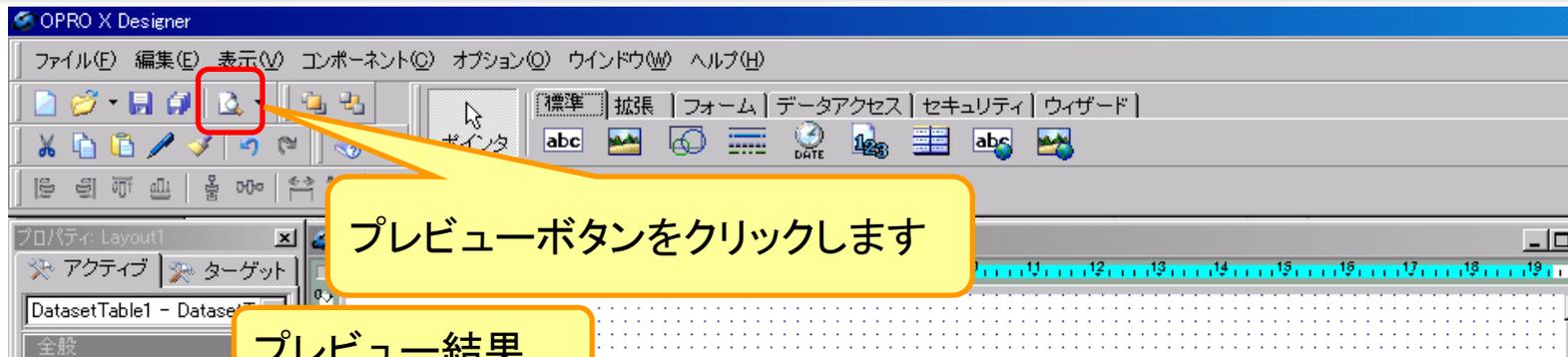
取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名			
取引先名	受注日	工事名	受注金額
DatasetTable1_GroupFooter0		合計	受注金額
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	DatasetColumn16

DatasetTable1

2. 罫線プロパティで、左から2つ目のタイプを選択します

# プレビューの実行

プレビューを行って、ここまでのデザインの確認をします。

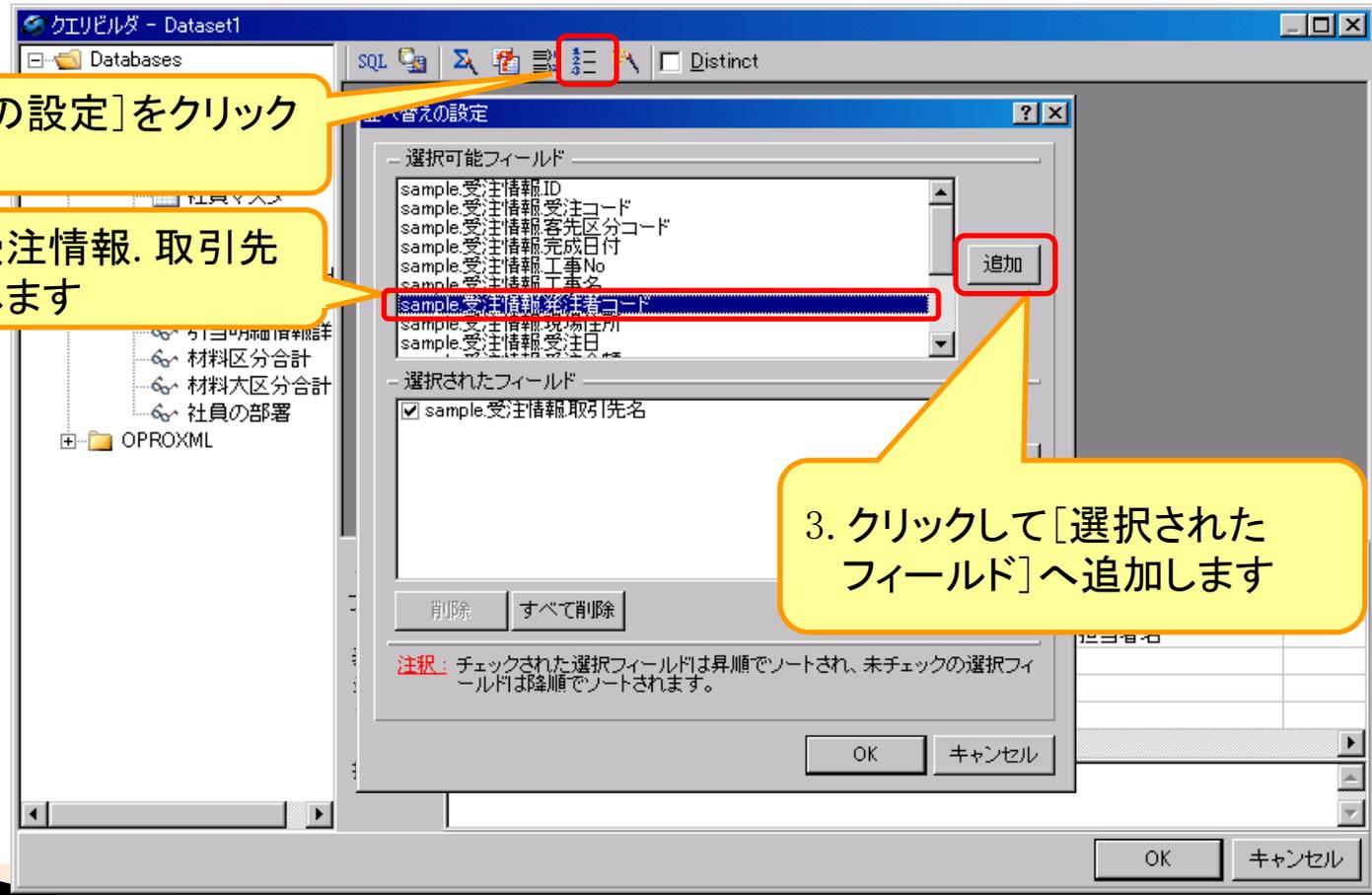


取引先名	受注日	工事名	受注金額
<b>田中</b>			
株式会社 ABC	2003/05/01	水道工事	¥1,500,000
株式会社 ABC	2003/05/11	ADSL工事	¥2,500,000
株式会社 ABC	2003/05/21	電話工事	¥3,500,000
株式会社 ABC	2003/05/31	電話工事	¥4,500,000
株式会社 ABC	2003/06/10	光ファイバー敷	¥5,500,000
株式会社 ABC	2003/06/20	光ファイバー敷	¥6,500,000
株式会社 ABC	2003/06/30	光ファイバー敷	¥7,500,000
田中 株式会社	2003/05/01	水道工事	¥1,500,000
<b>合計</b>			<b>¥33,000,000</b>

# 並べ替えの設定

明細データを「取引先名」順に並べ替えます。  
Datasetをダブルクリックし、クエリビルダを起動してください。

- 1. [並べ替えの設定]をクリックします
- 2. 「sample. 受注情報. 取引先名」を選択します



3. クリックして[選択されたフィールド]へ追加します

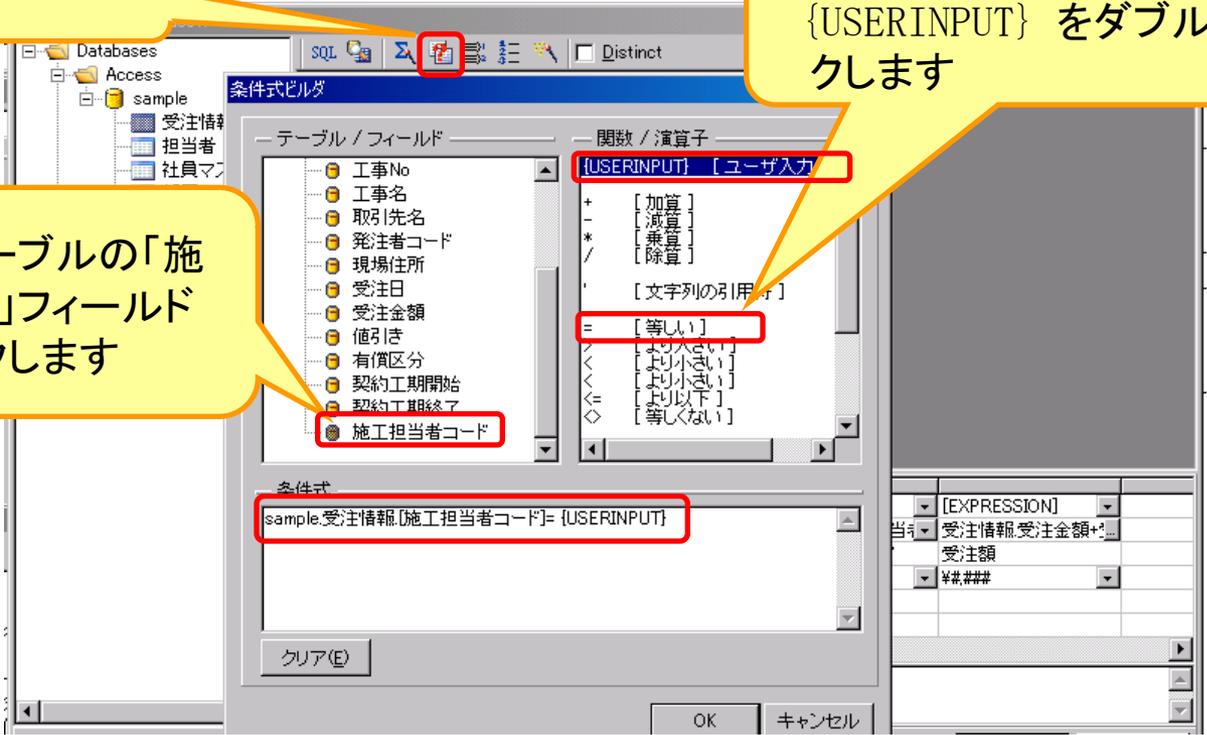
# 抽出条件の設定

実行時に「担当者コード」を指定できるように設定します。  
抽出条件の設定は「条件式ビルダ」で行います。

1. [抽出条件の設定]をクリックします

2. 「受注情報」テーブルの「施工担当者コード」フィールドをダブルクリックします

3. = [等しい] と {USERINPUT} をダブルクリックします



クエリビルダ上の {USERINPUT} は、実行時に値を指定するという意味になります。

# 式の作成(1)

「受注金額」と「値引き」を足して、受注額を計算します。  
式の作成は「式ビルダ」で行います。

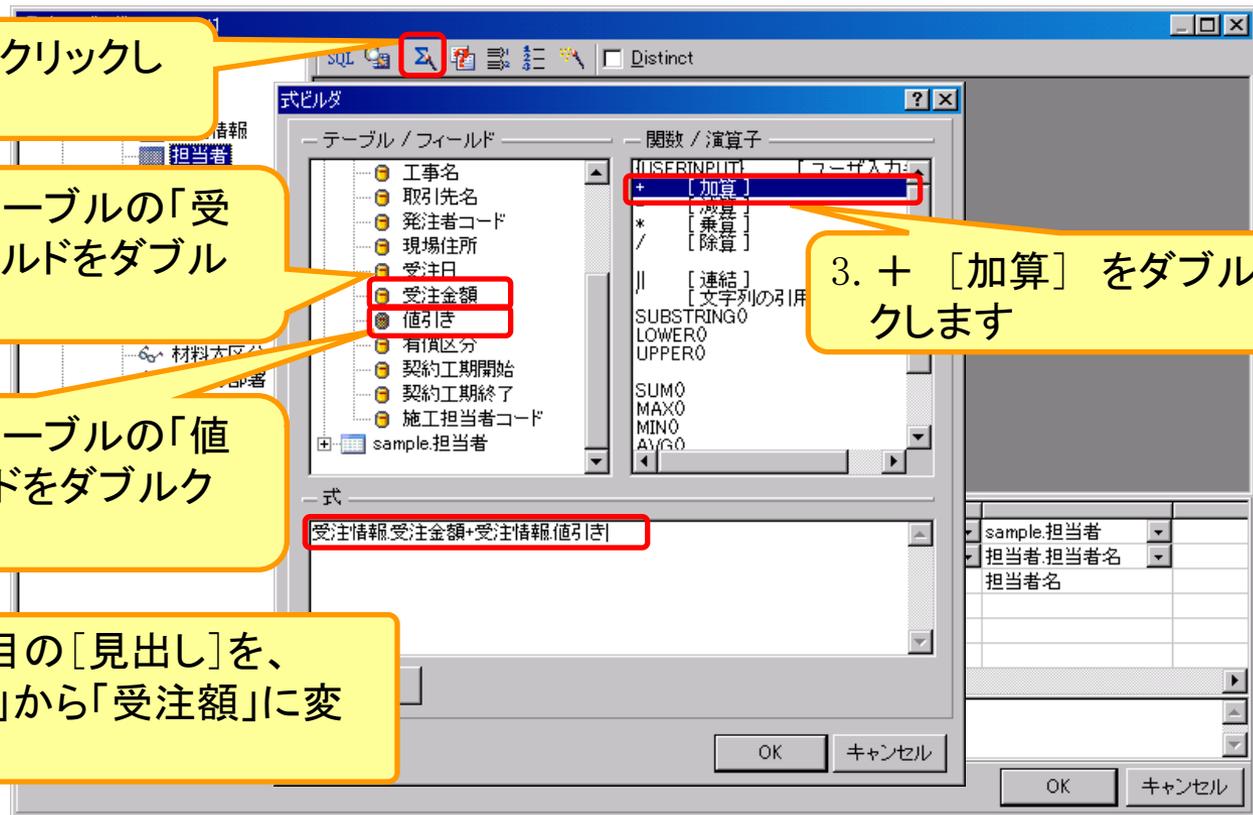
1. [式の作成]をクリックします

2. 「受注情報」テーブルの「受注金額」フィールドをダブルクリックします

4. 「受注情報」テーブルの「値引き」フィールドをダブルクリックします

5. 追加された項目の[見出し]を、「Expression1」から「受注額」に変更します

6. 表示形式を「¥#, ###」とします



3. + [加算] をダブルクリックします

# 「受注金額」を「受注額」に変更(1)

既にある「受注金額」が、「受注額」となるように選択しなおします。

1. 「受注金額」を表示していたLabelコンポーネントをクリックします

2. 内容プロパティで[フィールド]を「受注額」に変更します

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名			
取引先名	受注日	工事名	受注額
合計			受注金額

# 「受注金額」を「受注額」に変更(2)

AggregateFunctionについても同様に、「受注額」に変更します。

1. Aggregate Functionコンポーネントをクリックします

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名			
取引先名	受注日	工事名	受注額
DatasetTable1_GroupFooter0		合計	受注額
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	

プロパティ: Layout1

AggregateFunction1 - Aggregate Function

フィールド: 受注額

関数: SUM

2. 内容プロパティで[フィールド]を「受注額」に変更します

3. [関数]を[SUM]に設定します

# 重複したデータを表示しない

「取引先名」のデータが重複した場合に、同じものを繰り返さないように設定します。

1. Dataset Tableを選択します

取引先名	受注日	工事名	受注金額
担当者名			
取引先名	受注日	工事名	受注額
DatasetTable1_GroupFooter0		合計	受注額
DatasetColumn13	DatasetColumn14	DatasetColumn15	DatasetColumn16

2. カスタムプロパティで「重複の削除」タブをクリックします

3. 「取引先名」にチェックをつけます

以上で基本的な連続帳票サンプルは完成です！プレビューで確認してみましょう

# プレビューの実行

The screenshot shows the OPRO X Designer interface. The menu bar includes: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) コンポーネント(C) オプション(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H). The toolbar contains various icons, with the preview button (a magnifying glass over a document) highlighted by a red box. A yellow callout bubble points to this button with the text: "1. プレビューボタンをクリックします". Below the callout, another yellow callout bubble points to the {USERINPUT} input window in the design area, containing the text: "2. {USERINPUT} 入力ウィンドウに担当者コード(1~10)を入力します". A dialog box titled "リクエスト値" is open, showing the text: "sample.受注情報.施工担当者コード= {Dataset1\_1}." and "キーの値を入力してください {Dataset1\_1}." Below this text is an input field containing the number "1", which is also highlighted by a red box. The dialog box has "OK" and "キャンセル" buttons.

## 参考

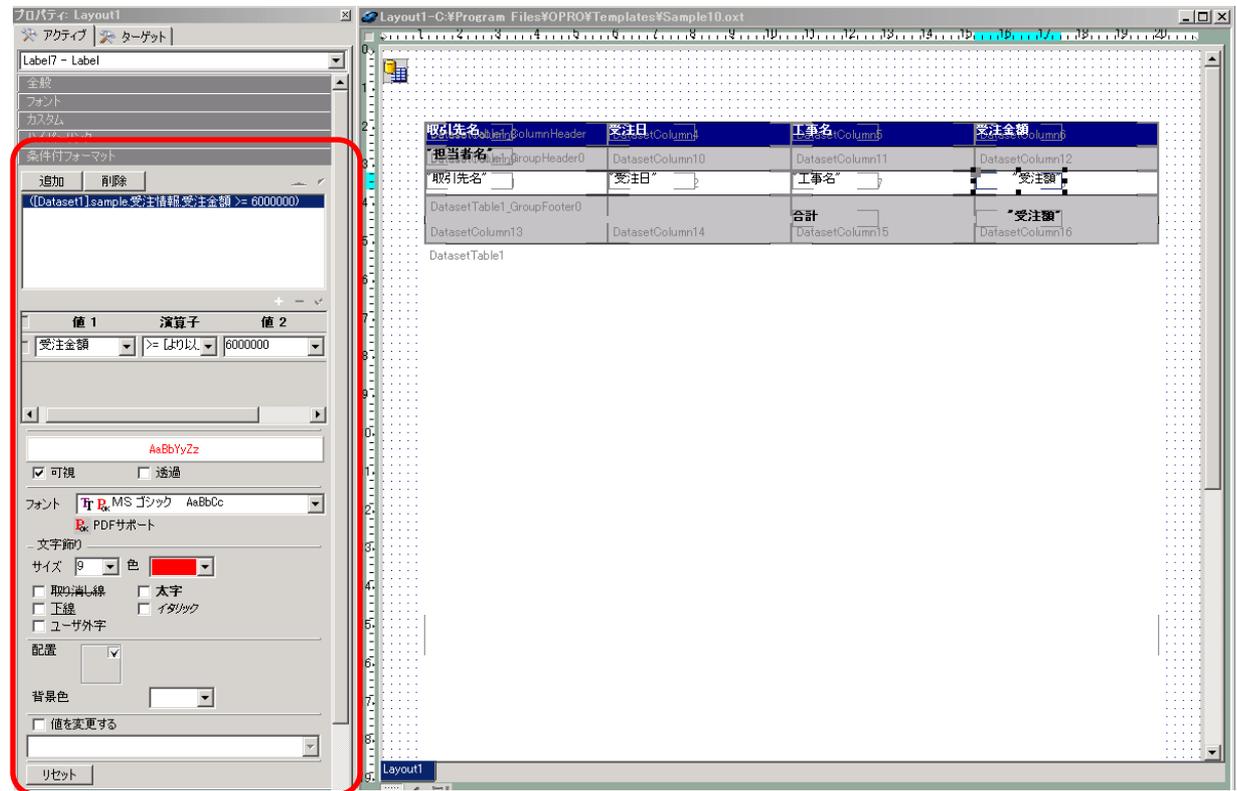
担当者コード	担当者名
1	田中
2	佐藤
3	鈴木
4	原
5	石川
6	武藤
7	佐々木
8	石井
9	伊藤
10	小林

# 条件付フォーマット

Labelの「条件付フォーマット」プロパティで、条件によって表示方法を変更することができます。

例えば、「受注金額」フィールドの値が 6000000 以上の場合、フォントの色を赤で表示するには、以下のように設定します。

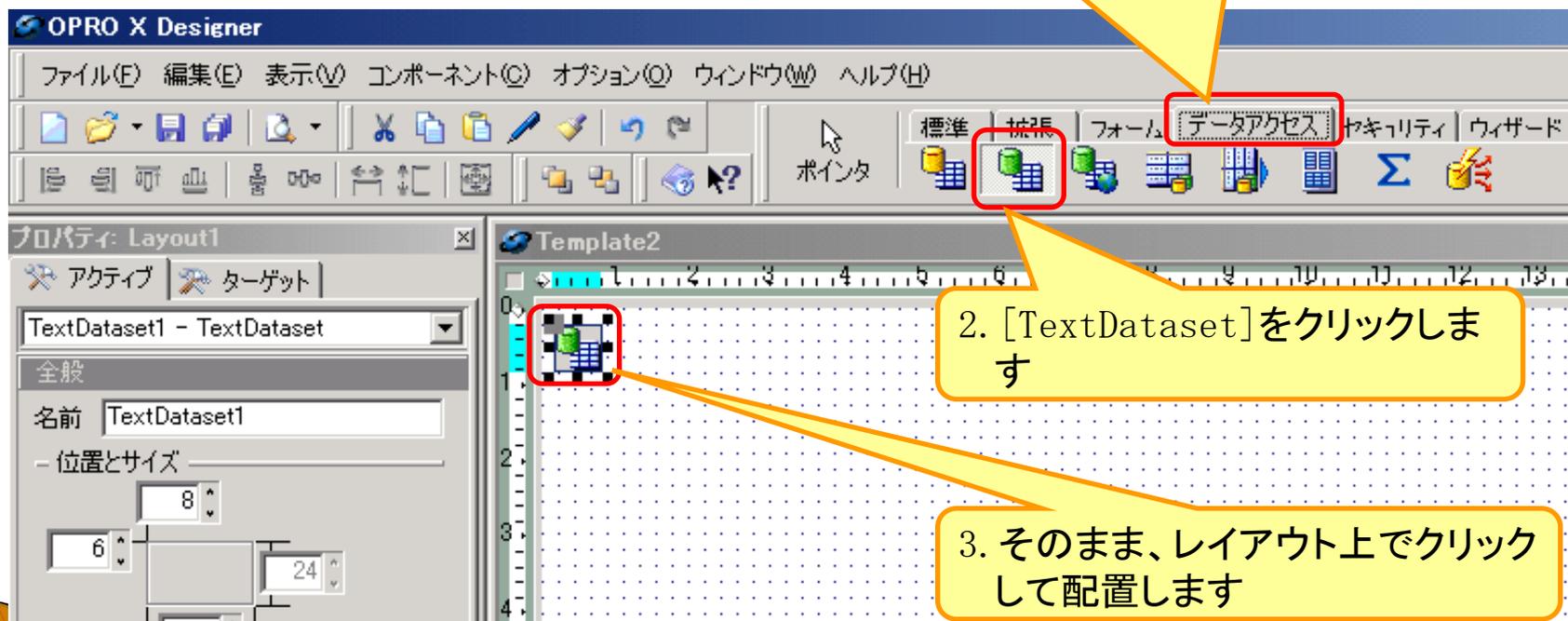
- ・値1            受注額
- ・演算子        >=
- ・値2            6000000
- ・フォント - 色 赤



# 1. TextDatasetコンポーネントの配置

TextDatasetコンポーネントを使用すると、テキストファイルやCSVファイル、からデータを読み込むことができます。

1. [データアクセス]タブをクリックします



2. [TextDataset]をクリックします

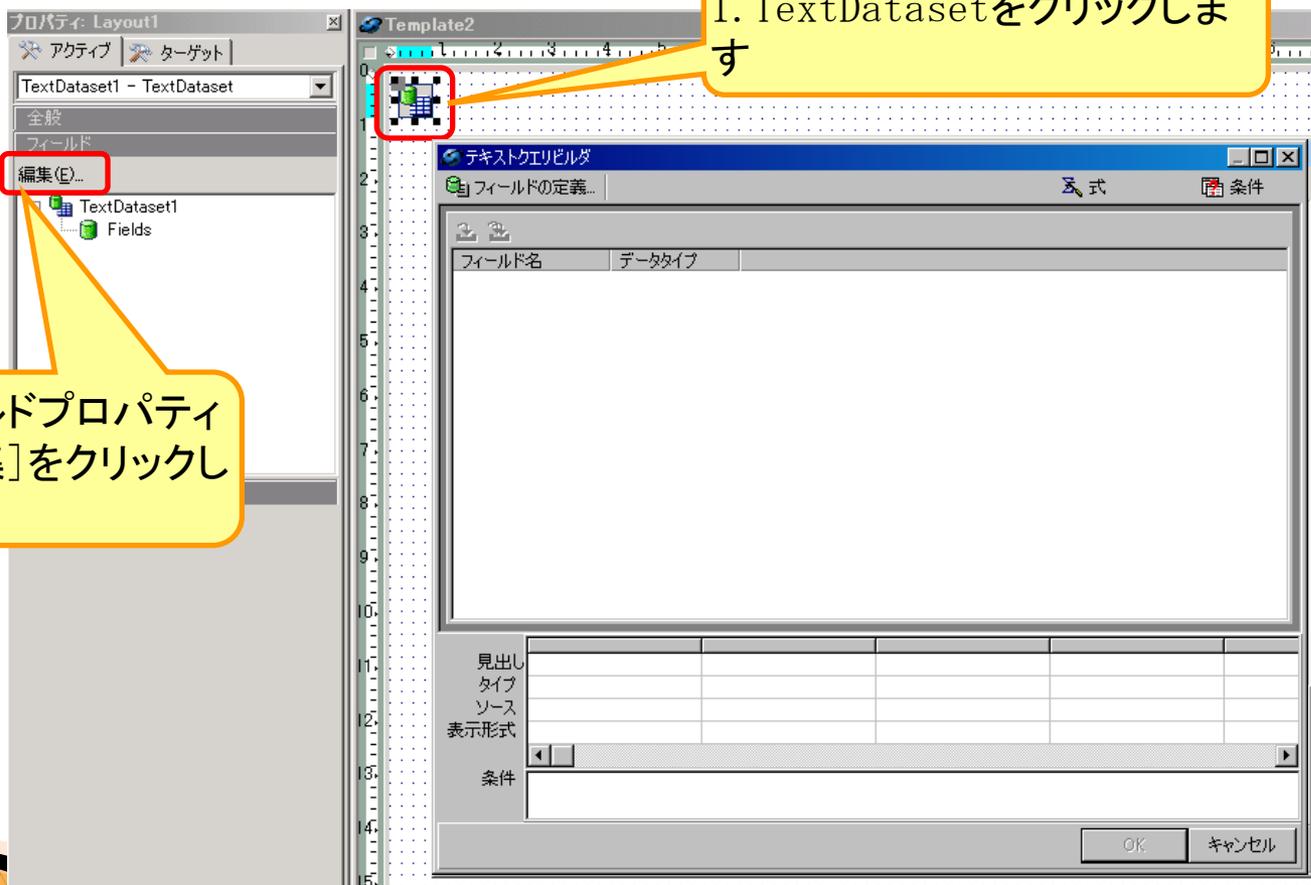
3. そのまま、レイアウト上でクリックして配置します

## 2. テキストクエリビルダの起動

テキストクエリビルダを起動してテキストの定義を行います。

1. TextDatasetをクリックします

2. フィールドプロパティの[編集]をクリックします

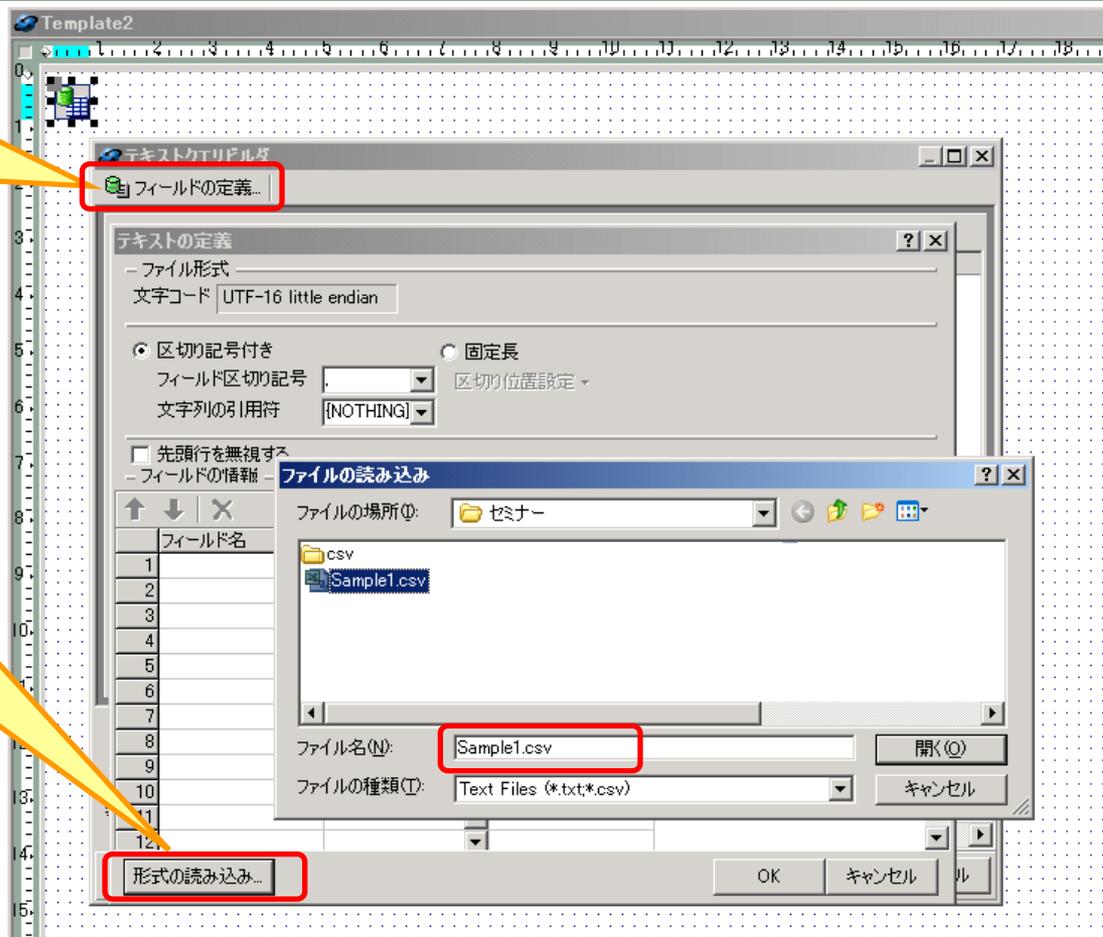


## 3. テキスト形式の読み込み

テキストの定義を設定します。既存のCSVファイルから設定することができます。  
(フィールドごとに直接入力して設定を行うこともできます。)

1. [フィールドの定義]をクリックして[テキストの定義]を開きます。

2. [形式の読み込み]をクリックしてCSVファイルを読み込みます。



# 4. テキストの設定

既存のCSVファイルからテキストの設定を行います。

1. 「932 (SHIFT\_JIS)」を選択します

2. 「区切り記号付き」を選択します

3. カンマを選択します

4. ダブルクォーテーションを選択します

5. [先頭行をフィールド名として使う]をチェックします

6. [OK] クリックします

7. テキストクエリビルダもOKボタンをクリックして終了します。

テキストの設定

ファイル形式

文字コード **932 (Shift\_JIS)**

区切り記号付き  固定長

フィールド区切り記号 ,

文字列の引用符 "

先頭行をフィールド名として使う

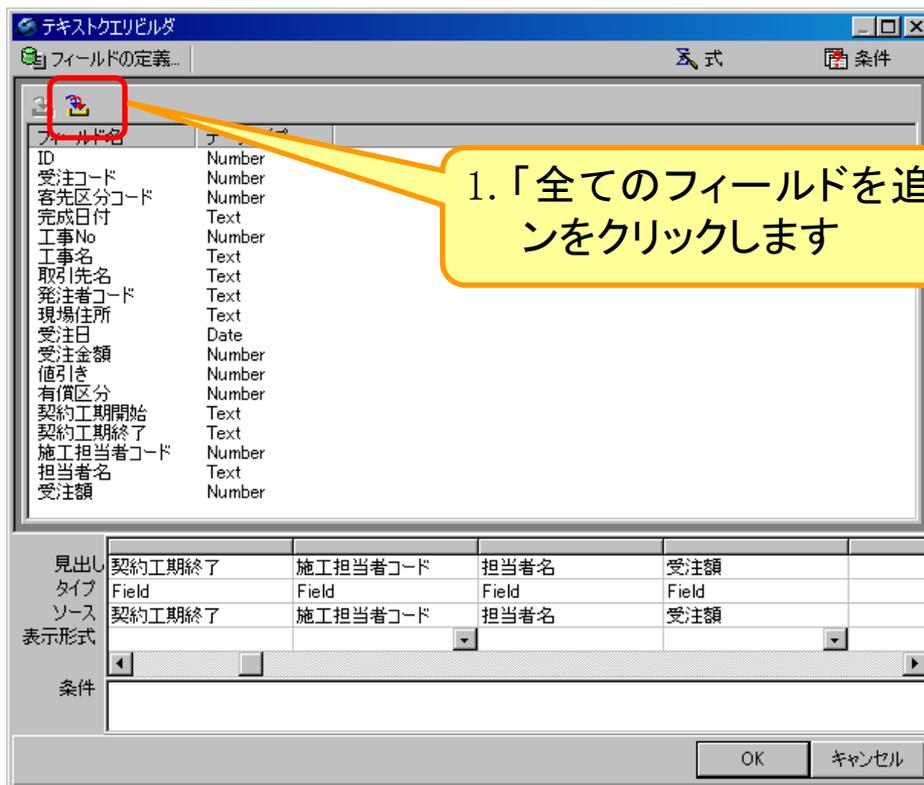
受注コード	客先区分コード	完成日付	工事No	工事名
31 320.0	24	2003-08-13 00:00:00	000000011	ADSL工事
32 330.0	24	2003-08-23 00:00:00	000000021	電話工事
33 340.0	24	2003-09-02 00:00:00	000000031	電話工事
34 350.0	24	2003-09-12 00:00:00	000000041	光ファイバー
35 360.0	24	2003-09-22 00:00:00	000000051	光ファイバー
36 370.0	24	2003-10-02 00:00:00	000000061	光ファイバー
30 310.0	24	2003-08-03 00:00:00	000000001	水道工事
54 371.0	31	2003-08-05 00:00:00	000000001	水道工事
46 372.0	28	2003-08-05 00:00:00	000000002	道路工事
50 311.0	00	2003-08-04 00:00:00	000000000	道路工事

MS Gothic Aa

OK キャンセル

# 5.フィールドの追加

テンプレートで使用するフィールドを選択します。



※フィールド名をダブルクリックして、一つずつ追加することもできます。

## 6. データ表示形式の指定

デザイングリッドの[表示形式]はドロップダウンリストから表示形式を選択できます。（ドロップダウンリストにないものは直接キーボードから入力できます。）

見出し	受注日	受注金額	値引き
タイプ	Field	Field	Field
ソース	受注日	受注金額	値引き
表示形式	yyyy/MM/dd	¥#,###	¥#,###

1. ドロップダウンリストから表示形式を選択します

2. キーボードから表示形式を入力します

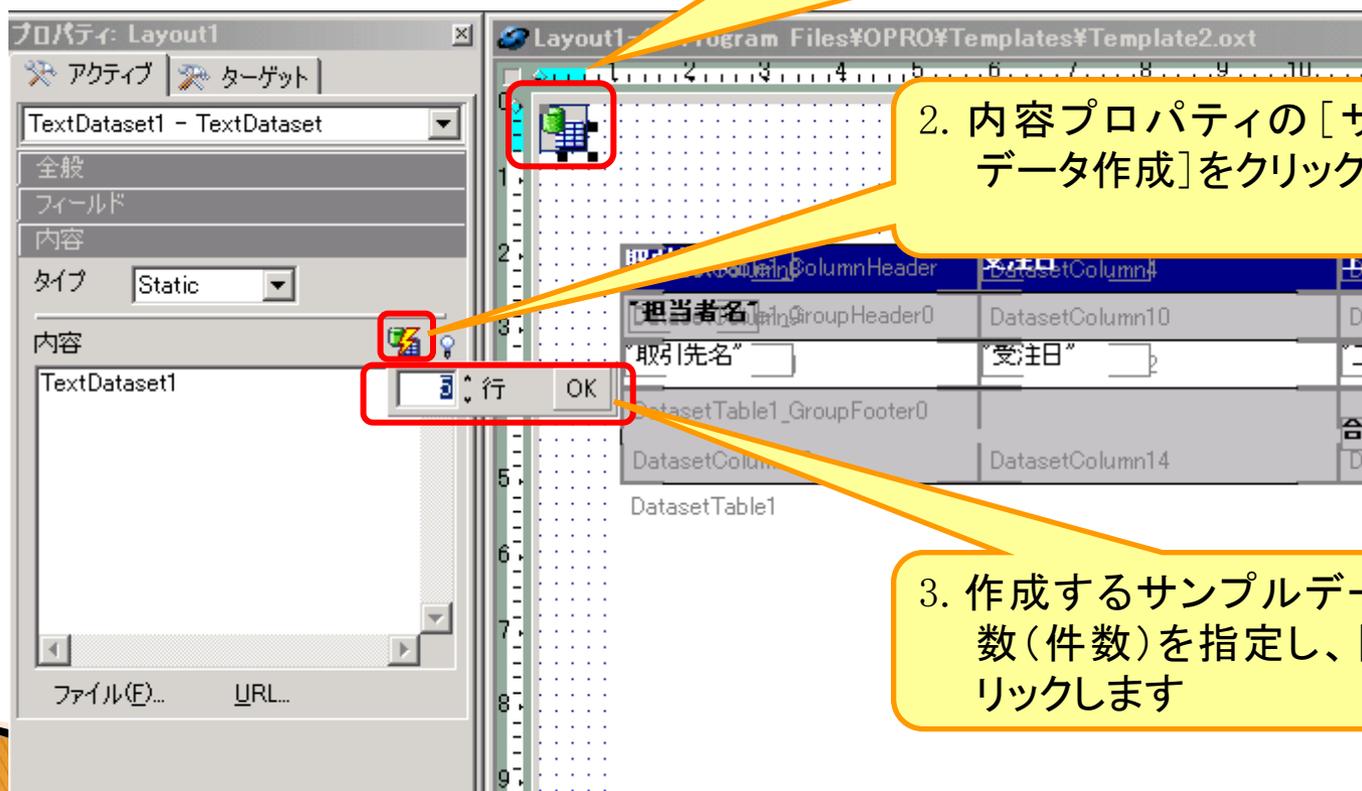
# 7. サンプルデータの作成

簡単なサンプルCSVデータを作成することができます。作成したデータを使用して確認プレビューを行うこともできます。

1. TextDataset を選択します

2. 内容プロパティの [サンプルデータ作成] をクリックします

3. 作成するサンプルデータの行数(件数)を指定し、[OK] をクリックします



# 8.CSVデータの渡し方

ここでは、帳票生成時にCSVデータを渡す方法をご紹介します。

1. TextDataset を選択します

2. 内容プロパティを設定します  
 タイプ: Request  
 リクエストパラメータ名:  
 TextDataset1

3. プレビュー時に表示されるリクエスト値にCSVデータを入力します

リクエスト値

Layout1 - TextDataset1

キーの値を入力してください [TextDataset1].

ID	受注コード	客先区分コード	完成日付	工事No	工事名	取引先名	発注者
31,320,0,24,	"2003-08-13 00:00:00"	000000011	ADSL工事	株式会社	ABC		

※CSVファイルの場所を指定する方法はURLTextDatasetコンポーネントを使用します。